



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

臨床研修部：山中 慎也

### 【研究責任者】

聖路加国際病院      臨床研修部      山中 慎也

### 【指導医】

聖路加国際病院      腎臓内科      藤丸 拓也

聖路加国際大学      公衆衛生学研究科      Mahbubur Rahman

# 当院の内科系診療科入院時に血清カリウム値が低い方を対象とした その後の治療経過に関する研究

## 1. 研究の対象

- 1) 2011年1月から2020年12月までに内科系診療科（一般内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、感染症科、内分泌代謝科、リウマチ膠原病センター、循環器内科、消化器内科/内視鏡内科、神経内科、心療内科）に入院した患者
- 2) 18歳以上
- 3) 入院日もしくは、入院から24時間以内に採血が実施されている。
- 4) 上記で測定された血清カリウム値が4.0 mEq/L未満である。

## 2. 研究の目的・方法

カリウムは細胞内に最も多く存在する陽イオンであり、神経や筋肉組織の細胞機能に重要な役割を果たしています。低カリウム血症は薬剤性や溶質摂取不足、下痢や尿からの排泄亢進により発症します。低カリウム血症の定義は世界的な共通見解は得られていませんが、3.5 mEq/L未満を軽症、3.0-3.5 mEq/Lを中等症、3.0 mEq/L未満を重症とすることが多いです。入院患者の6%に認める軽症の低カリウム血症は予後因子であり、とりわけ、急性心筋梗塞患者では死亡率が上昇するため、カリウム製剤による補正が重要です。また、近年外来患者においては、軽症域よりも高値である血清カリウム値4 mEq/L未満でも長期予後との関連が示されております。上記数値には解離があり、血清カリウム値の補正適応はわかっておりません。

軽度な低カリウム血症の場合は、臨床症状を呈することは少ないですが、器質的心疾患を背景にした患者では、不整脈の発生リスクが上昇します。不整脈は集中治療室入室の10%を占め、一般に集中治療室に入室した患者は入室しなかった患者と比べ、短期予後だけでなく長期予後も不良であると知られております。そのため、本研究の目的は入院時に血清カリウム値が4 mEq/L未満であった患者に対するカリウム製剤の補充と入院中の予期しない集中治療室入室との関連を評価することです。入院時に認めた血清カリウム値4 mEq/L未満の患者にカリウム製剤を補充することが集中治療室入室を予防し長期予後を改善することが明らかになることが期待されます。

この研究では、通常の保険診療以外の医療行為を行うことはなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての後方視的な研究となります。

研究期間は、研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

ID、性別、生年月日、合併症、既往歴、経過表記録、移動食事カレンダー、病名・プロブレム、プログレスノート、血液検査、血液生化学検査、使用薬剤 等

《試料》

なし